

(株)地主クリニカルサポート

在宅介護支援センター デイサービスたまゆら 【地域密着型通所介護】

運営推進会議開催 報告書

開催日時	
平成 30 年 9 月 7 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 00	
参加者	
利用者様	1 名
利用者家族様	1 名
地域住民代表 民生委員(西原)	1 名
地域ボランティア	1 名
地域包括支援センター	1 名
知見者 介護支援専門員	1 名
職員	1 名 (管理者)
会議次第	
(1) 開会のあいさつ (2) 出席者の紹介 (3) 事業所の紹介 (4) 活動状況の報告 (5) ヒヤリハットや事故等の報告 (6) 意見交換・質疑応答 (7) 閉会のあいさつ	
会議録	
○ 事業所の概要説明 職員体制・利用者様登録状況・介護度内訳・年齢内訳・平均利用者数	
○ 活動状況の報告 H30 3月…調理レク(巻き寿司・いなり寿司)・おやつ作り(いちご大福) 4月…調理レク(ちらし寿司)・手芸(小鳥の置物)・おやつ作り(うぐいすもち) 5月…調理レク(ハヤシライス)・おやつ作り(どら焼き・一銭洋食) 6月…調理レク(親子丼)・おやつ作り(抹茶マフィン) 7月…調理レク(そうめん)・手芸(コサージュ・金魚の飾り)・おやつ作り(たこ焼き) 7/30 消防訓練 8月…調理レク(そうめん)・8/3~8/4 夏祭り その他…生け花(毎月1回)	

○ ヒヤリハットや事故の報告

(事例1) 送迎車に案内中、雨で利用者様の足が滑り尻もちをつかれた

【対策】素早く行動をされるタイプの方でもある為、落ち着いて移動してもらえよう環境整備や声掛けに気を付け、職員も誘導を促すようにしている

(事例2) お送り時、降車後に自宅付近の坂道を介助で歩行中に利用者様がバランスを崩され、後方へ転倒された

【対策】後方への転倒が多い方なので、介助者のポジションにも気を付けるようにしている

(事例3) 職員が介助しながら席移動をしていたところ、突然しゃがみ尻餅をつかれた(介助に依存的な方だった)

【対策】介助に依存的な利用者様に対しては特に主体性を引き出す声掛けや介助を行い、自分で意欲をもてるように援助するようにしている

○ 意見交換・質疑応答

・今も楽しいけど昔は男性利用者が多く、もっとにぎやかだった気がする。この会議に出席していると自分も嫁や姑の立場でたどってきたことを思い出した。

・本人も「楽しい」と言って利用している。いろんな活動ができて家族も喜んでいる。休みの日は寝てばかりだが、デイサービスの日は元気になって帰ってくるのが嬉しい。

・通所サービスに行く事が楽しみになって、利用回数が増える人が地域の方にも多い。家にずっと居ると物忘れが進行したり、表情が乏しくなった方もみてきたので、必要なサービスだと思う。

・元気だと思っていた人が急に利用終了することが寂しい。利用中は元気に過ごしているようでも、様々な事情で在宅生活の継続が難しい部分があるのが現実かな…と感じた。

・利用者様がいろいろな活動に参加し、楽しまれていることが伝わった。

・業務上、他事業所との関わりも多いが、利用者様・家族様と密接に関わっている事業所ではないかと思う。

○ 次回開催は平成31年3月の予定